

新潟職能短大通信

「ものづくり」を目指して
付加価値を高めよう

四月一日付で着任しました部長の坂本です。新発田市は城下町ということで、さっそくお城に行ってみました。

さすが日本百名城に認定されているだけあり、歴史的な重みと往時の雰囲気を感じる事ができました。

昔ながらの工法で復元されたお城だということに感激しました。「切込はぎ」と呼ばれる技法で積まれた石垣が大変きれいで驚きました。

また、新発田市は海あり山あり温泉ありと聞いています。できるだけ早い時期に市内全域を訪ねて、このすばらしい自然環境を味わってみたいと思います。

さて、本校は四月三日に入学式を行い九十六名の新入生を迎えることができました。今年で十八年目を迎えます。卒業生はこれまでに一千六百名を数え、企業等の中堅どころとして活躍しています。今年度から電子技術

と情報技術を融合した電子情報技術科を新たにスタートすることになりました。ソフトとハードの

コラボレーションで新しいものづくりにチャレンジしていきたいと思えます。四月十日には満開となった桜の下で記念撮影を行いました。



入学式 2009.4.3

本校の教育プログラムは、実際の職業を想定した実習や演習に力を入れています。大学の工学部に相当する専門学科等も学びます。

また、二年次に行う卒業制作実習では一人ひとりが構想から設計、製作まで一貫して行います。こうした一連の工程を経

験する中で創意工夫する心を養ってもらえるものと考えています。売れるモノ(製品)には、信頼性や機能性、デザイン性などの高付加価値が求められますが、価格競争にも勝ち残っていかなければなりません。そのためには、大量生産ができる金型の開発や生産工程の改良・改善が常に求められています。

改良・改善は机上だけではできません。現場での知恵と経験が必要となつてきます。

今、ものづくりの現場は苦戦が続いています。我が国のものづくりのレベルは、世界のトップクラスであることは言うまでもありません。大企業から中小企業まで、各企業にはすばらしい技術と技能とこだわりがあります。

これを更に継続発展していくためには、今後を担う若者がものづくりの大切さを理解し、将来の仕事として自信と誇りを持つことが必要です。さまざまな経験を教訓として、さらに付加価値を高めたものづくりに挑戦していきたいものです。当校では、創意工夫す

る心を高めるとともに、次の世代を担う子供達にもものづくりの楽しさを知ってもらうため、七月十八日(土)に「ものづくり体験教室」を開催します。

八月二十五日には当校を会場として県内大学、高専などと「産学連携フェア」を開催します。来年三月八日には「卒業制作実習発表会」も行います。



記念撮影 2009.4.10

こうしたものづくりに関係した催しを通して地域社会との交流を図ってまいりたいと思います。

今後とも本校の活動に関しまして関係各位のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新潟職能能力開発短期大学校 能力開発部長
坂本龍彦